

東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト

Support Our Kids

第10回 復興アンバサダー 夏季海外研修プログラム 参加者募集



応募期間：2020年2月1日(土)～3月25日(水)必着

海外研修日：2020年6月上旬～7月中旬の約2週間

東北の未来は、自分たちで創っていく！

「東北から復興を担う未来の意思を育てよう！」という想いを胸に、Support Our Kidsでは東北の復興、そして次代の社会を創造していく担い手づくりに取り組んでいます。

震災以降、様々な形で日本に温かい手を差し伸べていただいた諸外国の駐日大使館にご協力いただき、東日本大震災で被災した東北の中高生に国際感覚と復興の担い手としての意志を養う学びの場を提供しています。

「リーダーシップを発揮して東北をよりよくしたい」という志の高い生徒を対象としたプログラムです。2011年の発足以来、これまでに455名が海外へはばたき、帰国後は恩送り活動や具体的な復興プロジェクトを立ち上げ自分たちの力で歩み始めています。

第10回夏季海外研修プログラム参加 復興アンバサダーを募集します

～私たちの想い～



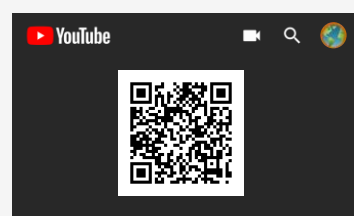
秋沢志篤

Support Our Kids 実行委員会
ファウンダー

皆さん、ひとりひとりが、この海外研修プログラムを通して、「東北復興の為に、自分はこれをやるんだ！」という“役割を見つけてもらうこと”。これが「自立」だと思います。

自分がしなければいけないこと。
自分がしたいこと。

皆さんが、この研修を通して、それに気づいたら、どうやったらできるかを考え、具体的に行動に移して頂くことを願っています。



秋沢志篤（特定非営利活動法人次代の創造工房/Support Our Kids創始者）のプロフィール映像、およびSupport Our Kidsイントロダクション映像はこちらからご覧いただけます。

研修プログラムの様子 毎日がチャレンジ！

東北から国際感覚を備えた復興の担い手を育成することを目的に、海外を舞台に約2週間の学びの場を提供します。現地での震災・復興プレゼンテーションに加え、その国その時期にしか体験できない特別なプログラムを実施。



震災・復興プレゼンテーション



異文化体験学習



国際機関・政府機関 表敬訪問



現地学生との交流



各国の歴史を学ぶプログラム



支援者とのプレミアムな体験

第10回 夏季研修プログラム概要（予定）

フランス



ル・マン24時間耐久レースの観戦と、自動車工学学習を含む模擬レース体験から、「テクノロジーと環境」「チームでの課題解決」について学びます。その他、ユネスコ訪問、画家ゴッホ終焉の地での文化学習等を予定。

アイルランド






世界各国から集まる同世代の学生たちと共に学び、毎日様々なアクティビティに参加。世界における多様性を体験する。歴代駐日大使たちとの交流、大臣・市長表敬訪問、ヨーロッパの歴史、環境問題などの社会課題、トリニティ大学やラグビーなどの文化を学ぶ。

カナダ



社会福祉施設訪問、サマーキャンプを通じて現地の子ども達と交流。多文化主義・モザイク文化と呼ばれるカナダ・トロントで「共生社会」や「多様性」を体験。日系文化会館ではの日系人の歴史や移民としてのお話を体験者より直接伺いフロンティアスピリッツについて学ぶ。

夏季海外研修プログラム 渡航国及び日程（予定） ※各国最大10名募集

	フランス	2020年6月上旬 ～ 6月下旬	（約2週間）
	アイルランド	2020年6月中旬 ～ 7月中旬	（約2週間）
	カナダ	2020年6月下旬 ～ 7月上旬	（約2週間）

※春季プログラム（2021年3月中旬～下旬）では、オーストラリア・ニュージーランドへの渡航を予定。春季プログラムの参加者募集は夏に実施予定。

過去の各国研修プログラム報告書を弊会ホームページに掲載しています。



URL: <http://support-our-kids.org/report/>

プログラム参加者の声

私にしかできないこと

2019年 フランス 参加者



私はこのプログラムで「新聞記者になりたい」という夢ができました。

このフランスで過ごした12日間は「私にしかできないことはなんだろう」と考える機会が多くあり、その中で私にしかできないことは新聞記者になって自分にしか書けない記事を書くことなのだと思えるようになりました。Le Mans耐久レースで挑戦し続ける大人達や自分にしかできない仕事をしているスタッフの姿に大きな刺激を受けました。私も大人になっても夢を持って挑戦し続けられる仕事をしていきたいと思っています。

恩返しスタート

2019年 アイルランド 参加者



この研修に応募する前の私の夢は「フェアトレードを通じて、世界的に貧困層の方々を支え、挑戦できる環境の創造に貢献することでした。

アイルランドでは、世界の第一線で活躍されているの方々にお話を聞き、たくさんの社会問題や、意識の高い環境問題などについて知ることができました。そこで**世界には貧困問題だけではなく、様々な問題があることを初めて痛感しました。**「果たして本当に貧困問題に取り組みたいのか？」と思うようになり、**夢は狭まるどころか広がっていきました。**

今回の研修で貴重な経験を通し、お金では決して手に入れることのできない皆さんの宝物を得ることが出来ました。**復興アンバサダーの活動を通じて世の中に貢献し、恩返しをしていきたいと思っています。**

アイデアとデザイン力で、石巻の漁業に新たな力を！

2015年 ポーランド・スイス 参加者



このプログラムで**自分の興味がある分野に恐れず挑戦できるようになりました。**高校生という貴重な時期に海外に行けたことが自信になり、原動力となっています。

現在、卒業制作の一環で「**船紋プロジェクト**」を推進しています。漁師のこだわりや漁場の特徴を紋で表現し、商品と関連づけることで、**地元石巻が誇る漁場をより身近に感じて欲しいと思える発足したプロジェクトです。**

今後の目標は**石巻のクリエイティブディレクター**になることです。来春から広告代理店で働くということもあり、生まれ育った故郷とアイデアで繋がりたいと考えるようになりました。**漁業の視点から地元石巻を見ることにより、誇りを持てるようになった今、また別な視点からも石巻を取り上げられるような人材になりたいです。**

そば粉ワッフルで、福島県川内村の魅力を発信！

2013年 カナダ 参加者



このプログラムでカナダに行かせて頂いたことで、**視野と価値観が広がり、国内外の様々な人やモノと出会いたいと思えるようになりました。**その気持ちから一年間ワーキングホリデーでカナダに住んだり、海外バックパッカー旅、国内バイク旅などで各地を見たりしてきました。ワーキングホリデーでカナダを再訪した時に、**海外で「FUKUSHIMA」の伝わり方や課題に気づき、地域に根差した活動を始めるきっかけにつながりました。**

今は大学に通いつつ、福島県川内村の魅力を伝えるワッフル屋「Kokage Kitchen」と田村市地域おこし協力隊を兼業しています。

今後の目標は田舎での生活と仕事を楽しみながら、地方に興味を持つ若者を増やすことです。**来年春にはクラウドファンディングで調達した資金を元手に、川内村を中心とした福島の魅力、そして僕やみなさんの想いをのせたキッチンカーを始動させます！！**

帰国後の参加者

「次は自分の翼で誰かの為にはばたきたい！」と帰国した参加者達が自ら立ち上げた復興プロジェクト「HABATAKI」。これまでに4つのプロジェクトを自らの力で企画・資金調達から運営まで完遂させました。

その他にも多くのOBOGが「東北のために、自分たちに続く後輩のために」と、Support Our Kidsの各種ボランティア活動、地域のボランティア活動、2019年10月に発生した台風19号の被災地における復旧ボランティア活動、自ら立ち上げた数々の復興プロジェクトに積極的に参加し、東北の復興に向けて具体的な活動を起しています。



復興の輪プロジェクト
東北×ネパール

2016年3月



復興の輪プロジェクト
東北×熊本

2016年8月



復興の輪プロジェクト
東北×熊本

2017年8月



復興の輪プロジェクト
東北×台湾

2018年8月



SOK Charity Gala他
各種のチャリティ活動

随時

応募資格

- Support Our Kidsの活動趣旨をよく理解し、東北の復興に主体的に携わる明確な意志があること
(弊会の海外研修プログラムは、東北復興の担い手づくり、自立心育成を目的とした研修プログラムです。)
- 復興アンバサダーとしての使命を認識し、現地で積極的にコミュニケーションが図れること
- 東日本大震災時に被災し、保護者の承諾が得られる現中学1年生～現高校2年生 (2020年3月31日時点)
- これまでに、東日本大震災被災者支援を目的とした海外研修プログラムに参加したことがないこと
- 過去に弊会の研修プログラムに参加していないこと
- 学校の担任、部活動の顧問など、第三者の推薦を受けていること
- 面談・説明会等に保護者同伴で参加できること
- 渡航前に事前研修を受けること
 - 【第1回】 4月19日(日) 宮城県仙台市会場 (自己紹介、コミュニケーションアクティビティなど)
 - 【第2回】 5月17日(日) 宮城県仙台市会場 (震災英語プレゼンテーション練習など)
 - 【第3回】 渡航日前日 東京都内会場
- 帰国後、弊実行委員会と交流をはかり、毎年秋に開催する『リユニオン～翔(はばたき)～』
(復興アンバサダーによる未来を切り拓くカンファレンス)に参加すること
 - 【事前研修】 2020年9月13日(日)
 - 【前日研修(予定)】 2020年11月28日(土)
 - 【本番(予定)】 2020年11月29日(日)を予定(ともに仙台市)
- 帰国後にレポートを提出できること
- 震災・復興プレゼンテーション他、課される課題を期限内に提出できること
- 帰国後に東北の復興に向けたボランティア活動等に積極的に携わる意志があること

参加費用

- 弊会にて負担する費用：海外研修参加費用
(渡航費、現地宿泊費、現地食費、現地プログラム費、海外傷害保険費)
- 個人負担の費用：パスポート取得費、国内移動交通費
(現住所⇔空港、自宅⇔事前研修会場)、スーツケース宅配費、お土産代



選考スケジュール

一次選考 書類選考	～2020年3月25日(水)	合格者のみに4月2日までに電話で結果をご連絡します
二次選考 保護者 同伴面談	2020年4月4日(土) 2020年4月5日(日)	岩手県、福島県、宮城県 ※その他、被災後、東北三県以外に避難をしている方々の面接場所は、可能な限り対応させていただきます。 ※東京の本部事務局での面接希望の方はその旨を応募用紙にご記入ください。
最終結果 合格発表	2020年4月10日(金)	メールにて通知 ※13日(月)までに最終意思確認。

申込み方法

応募書類 以下の①～⑦の書類を**全て揃えて**3月25日（水）**必着**で事務局宛にお送りください。

①	参加申込書	
②	同意書	
③	記述式質問回答票	
④	作文	テーマ：平和の祭典「オリンピック」は、世界がひとつになることを目的としています。世界で起こっている様々な問題の中で自分が一番気になっていることについて、どのような解決策が考えられますか。加えて、復興五輪では、日本として世界に何を発信したいですか。 ※400字詰め原稿用紙3枚程度
⑤	推薦書（書式自由）	内容には次の4点が含まれていること。①日常の様子 ②推薦理由 ③海外経験後に期待すること ④東日本大震災の理解や復興への取り組み ※学校の担任教師、学校校長、部活動の顧問・監督、推薦諸団体等からの推薦書
⑥	身分証明書のコピー	パスポートまたは学生証
⑦	学校在籍証明書 1通	現中学3年生は、本研修プログラム合格後に、2020年4月以降進学先の在籍証明書を再提出。

応募期間

2020年2月1日（土）～2020年3月25日（水）**必着**

応募書類郵送先

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-12-6 ミツリ麹町ビル3F
NPO法人 次代の創造工房内「Support Our Kids事務局」

【お問合せ】 電話：03-6272-6252（萩元・高澤） FAX：03-3222-1169 Email：sok@jidai.or.jp

よくある質問

- Q 震災時、東北在住ではなかったのですが応募可能ですか。
- A 東北以外でも東日本大震災時に被災した方であれば応募可能です。被災の程度は問いませんが、面接時に震災時の様子をお伺いします。
- Q 推薦状の指定書式はありますか。
- A 推薦状については上記の①～④の内容が含まれていれば書式は問いません。または後頁のサンプル書式をご利用下さい。
- Q 過去にSupport Our Kids研修プログラムに応募したことがあるのですが、再度応募できますか。
- A 過去、弊会の研修プログラムに応募し不合格であった方は応募可能です。
- Q 語学力が低くても大丈夫ですか。
- A 弊会のプログラムは語学研修プログラムではありません。語学力の程度は問いませんが、現地で自分の意志・考えをしっかりと英語で伝えること、そのための事前準備をしっかり取り組める人が応募必須条件になります。
- Q 各種事前研修や出発・解散式、空港の見送り等に保護者が参加しても大丈夫ですか。
- A 弊会のプログラムは自立支援を目的としたプログラムになります。お子様の自立を促すためにも、保護者の参加はご遠慮頂いております。お子様の成長を信じ、温かく見守って頂ければ幸いです。

留意事項

- 提出された書類の個人情報の取り扱いについて細心の注意をはらい、参加者選考及び今後のご連絡のみに限定します。なお、応募書類は返却致しません。
- 参加が確定後、キャンセルされる場合、すみやかに弊会に通知をしてください。
- 申請書類等に関し、事実と異なる内容があると判断された場合、参加資格を取り消し、合格を取り消す場合がありますので、記載事項は正確にご申告ください。
- 合否のお問い合わせには、いかなる場合にもお応え出来ませんので予めご了承ください。
- 本ご案内の内容は予告なく変更する場合がございます。最新情報、詳細は弊会ホームページをご覧ください。<http://support-our-kids.org/>

Support Our Kids 夏季海外研修プログラム 参加申込書

全て黒のボールペンで、応募者本人が手書きで記入してください（PC原稿不可）

2020年3月末時点

ふりがな			性別		
参加希望者氏名			男・女		
生年月日	西暦	年	月	日	(満 歳/2020年3月末時点)
学校名			学年		
			中・高	年	
現住所	〒 -		☎ :	-	-
			携帯電話 :	-	-
震災時の住所	〒 -				
ふりがな					
携帯メールアドレス					
ふりがな					
PCメールアドレス					
海外渡航歴	渡航国 :	期間 :	年	月	日 ~ 年 月 日
	主催団体/内容等 :				
趣味・特技			部活動		
ふりがな			続柄		
保護者氏名			生年月日	西暦	年 月 日
				(歳)
現住所	〒 -		☎ :	-	-
			携帯電話 :	-	-
ふりがな					
メールアドレス					
緊急時連絡先氏名			続柄		
			☎		

このプログラムを何で知りましたか？（学校、参加者の紹介（氏名）、新聞、ラジオ、HP、SNS等々）

面接希望日・場所 ※第一希望から第三希望まで番号をふって下さい。

4月4日（土）

岩手

宮城

福島（いわき市）

4月5日（日）

岩手

宮城

福島（福島市）

Support Our Kids 海外研修プログラム参加同意書

Support Our Kids 実行委員会 御中

私 _____ と法定代理人 _____ は
海外研修参加にあたり、日常生活、事前準備において、また訪問国での研修生活、
事後活動において下記のことにご同意し、必ず守ります。

万一重大な違反や不適切な行為があった場合は、参加の取り消しや途中帰国など、Support Our Kids実行委員会の指導、決定にさせていただきます。

1. 私は以下のことについて努力します。

- ▶ 海外研修の趣旨をよく理解し、人種、宗教、生活習慣の違いを越え、異文化体験を通して、訪問する国の人たちと親しくし、相互理解を図ります。
- ▶ 受入れ家庭の環境の中で積極的に交流し、家族の一員として自覚しながら生活します。
- ▶ 訪問国の文化や日常の生活習慣を学び、感謝の気持ち、震災、日本や自分自身のことを伝えます。
- ▶ 事前活動に積極的に参加し、充実した研修ができるよう準備します。

2. 私は以下の事項を守ります。

- ▶ 団体で行動する時は、公共のマナーを守り、引率者のいうことをよく聞き、機内や宿泊先で騒いだり、他人に迷惑をかけたりするようなことはしません。
- ▶ 事前準備活動中や研修中に問題が起こった場合は、速やかにその場の対応責任者（事務局や現地引率者）と相談し、問題の解決をはかります。
- ▶ 有害サイトへのアクセス、お酒を飲むこと、タバコを吸うこと、マリファナなどのドラッグの使用、人種的な差別、性的な問題など法律違反をおかすようなことは絶対にしません。
- ▶ **事前の準備活動が不十分と指摘され、参加を延期または中止する指導を事務局より受けた場合はその指示に従います。**

3. 私、私の保護者は以下の理由で別途費用が発生した際は、その費用およびそれにて発生する諸経費の全額を負担します。

- ▶ 上記にある項目に違反し、途中帰国となった場合
- ▶ プログラム参加中にものを破損したり、他人に怪我を負わせてしまう、またその他一切の第三者に費用が発生する行為を行い賠償金や弁償金が発生した場合

4. 私は、個人情報の取り扱いに関して以下に定められた事項に同意します。

参加者より取得した個人情報（撮影した画像・映像も含む）は以下のとおり取り扱います。

①【利用目的】

- i. 本研修プログラム・企画の広報（理解者・支援者・参加児童の環を拡げる）のため、報告書・報告映像・関連WEBサイト・各種メディアへの掲載
- ii. 同種企画実施のための企画書への掲載
- iii. 本研修プログラムの支援者（社）の企画書・報告書・報告映像・関連WEBサイトなどへの掲載

②【第三者への提供】

当実行委員会は法律で定められている場合を除いて、参加者の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。

③【個人情報の取扱い業務の委託】

当実行委員会は事業運営上、業務の一部を外部に委託しており、業務の委託先に対して参加者の個人情報を預けることがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持などにより、参加者の個人情報の漏洩防止に必要な事項を取決め、適切な管理を実施させます。

④【個人情報提供の任意性】

本企画参加に際し、参加者が当実行委員会に個人情報を提供することは任意です。ただし、個人情報の提供を了承されない場合には、ご参加いただけない企画がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⑤【個人情報の開示請求について】

参加者には、ご本人の個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加、削除および利用又は提供の拒否権を要求する権利があります。必要な場合には、お申し込みの当実行委員会事務局まで連絡ください。

西暦 年 月 日

参加者の法定代理人

(親権者等自署)

印

参加者本人

(参加者自署)

Support Our Kids 夏季海外研修プログラム 記述式質問回答票

氏名 _____

年齢 満 _____ 才

学校名 _____

学年 _____

【参加志望国】

フランス

アイルランド

カナダ

※志望国順に番号をふって下さい。(複数回答可)

※参加を志望しない国には×を付けてください。

※志望国は選考時に参考にしますが、渡航国は本人の適性を考慮し弊会の方で決定します。

※国際情勢等により、派遣国は変更する場合がございます。予めご了承下さい。

以下の質問に、全て黒のボールペンで、応募者本人が手書きで記入してください（PC原稿不可）

1 あなたの被災状況および震災発災時の状況について具体的に教えて下さい。

a.被災状況 人的被害 _____ 物的被害 _____ 原発被害 _____

b.震災発災時の状況・その後の生活について

2 志望動機：復興アンバサダーに応募した理由・なぜその国か

3 あなたが考える「復興アンバサダー」とは？

4 訪問先では、東日本大震災についてプレゼンテーションを行います。
あなたが震災プレゼンテーションで海外の人に最も伝えたいことを教えてください。

5 復興アンバサダーとして世界で何を学び、帰国後どのように東北の復興に生かしたいですか。

6 リユニオン翔2019のビデオを見て、印象に残ったチームの発表とその理由を教えてください。

リユニオン翔2019の
映像はこちらから

<https://ux.nu/tSbAg>



7 これまでに、または現在、東北の復興に向けて活動をしていることを教えてください。

8 **健康状態** ※持病やアレルギー（ペットも含む）、アトピー性皮膚炎、喘息等があれば記入してください。

9 **確認事項（いずれかに○をお願いします。）**

- | | | | |
|--------------------------------|----|---|-----|
| ●復興の担い手づくりのプログラムだと理解しているか | はい | ・ | いいえ |
| ●自分の成長のために、常にチャレンジする意識でいられるか | はい | ・ | いいえ |
| ●準備や現地でのスケジュールにすべて対応できるか | はい | ・ | いいえ |
| ●提出物やプレゼンテーションの準備を期限以内にこなせるか | はい | ・ | いいえ |
| ●グループの中で、自分ができることを率先して取り組めるか | はい | ・ | いいえ |
| ●常に、現地の人と自分から英語でコミュニケーションを図れるか | はい | ・ | いいえ |
| ●帰国後に積極的にSOKのボランティアに参加する意志があるか | はい | ・ | いいえ |

10 **現地で震災プレゼンテーションを実施する上で、以下の質問にお答えください。**

- 英語が得意である はい・いいえ
※英語の資格(英検・TOEIC等)を取得している場合は、その資格教えてください。 **保有資格：** _____。
- PCが得意である（パワーポイントが使える） はい・いいえ

11 **Support Our Kidsとの関わりについて教えてください。**

- 知り合いにSupport Our Kids海外研修参加者がいる はい・いいえ
※はいの場合
氏名： _____ 参加年： _____ 派遣国： _____。
- 過去に「リユニオン翔」に参加したことがある はい・いいえ
※はいの場合 参加年 _____ 年

* すべて、黒のボールペンで、応募者本人が手書きで記入してください（PC原稿不可）

* 上記の質問に対してのお問い合わせにはお応えできませんのでご了承ください。

Support Our Kids 海外研修プログラム 推薦状

私 _____ (推薦者名) は、 _____ (被推薦者名) を、
Support Our Kids研修参加 復興アンバサダーに相応しいと認め、責任をもって推薦致します。

推薦者名

印

記入日

所属・職

電話番号

推薦者所属所在地

被推薦者との関係

1 日常の様子

2 推薦理由

3 海外経験後に期待すること

4 東日本大震災の理解や復興への取り組みについて